

仕様書

1 概要

広島県内の陸域から河川に流入しているプラスチックごみについて、太田川及びこれに流入する支川（河川敷含む）並びに広島湾沿岸の臨海公園等公共用地（以下「河川等」という。）を対象に、河川等に散乱しているごみの地点、量、組成を調査するとともに、その特徴を分析することにより、実態を把握する。

2 業務内容

（１）河川等に漏洩しているプラスチックごみの実態調査

ア 概要

調査範囲における散乱または集積ごみが確認された地点数及び量を現地調査により把握する。

イ 調査方法等

調査方法：調査は、河川延長 10m ごとに散乱または集積している「水辺の散乱ごみの評価手法（海岸版）」（国土交通省）に基づいて、目視で地点ごとの評価ランクを決定する。

調査回数：年 1 回（具体の時期は委託者と協議すること）

調査範囲：別図 1 のとおり

（２）組成調査

ア 概要

次のイに定める地点において、散乱ごみを回収し、組成ごとの量を把握する。

イ 調査地点

（ア）指定地点

次の座標周辺（概ね半径 1 km 内）とする。

なお、周辺地点において、ごみの散乱が確認されなかった場合は、速やかに委託者に報告するとともに、対応について協議すること。

調査地点	緯度	経度
元宇品	34.34576500	132.4580583
八幡橋西詰	34.37084500	132.3685417

（イ）ごみ量の多い地点

（１）の調査で把握した地点のうち、特にごみの量が多かった地点（評価ランクで概ねランク 4 以上）とする。ただし、地点数が 20 を越える場合は、委託者へ協議するものとする。

<参考>評価ランク

青い部分がゴミ		ゴミ袋の数量表	
[海岸線延長距離10m] × [海岸の奥行き] の範囲の漂着ゴミを回収したと想定		ランク	回収した際のゴミのかさ容量の表現として
	ゴミ袋1/4袋相当	0	(自然物を除いて)全くゴミがない
	ゴミ袋1袋相当	約1/8	500mlのペットボトルならば3~4本分程度
	ゴミ袋1/2袋相当	約1/4	2lのペットボトルならば2本分程度
	ゴミ袋1袋相当	約1/2	2lのペットボトルならば4本分程度
		約1	200~350mlの飲料缶ならば15本分程度
		約2	2lのペットボトルならば8本分程度
		約4	200~350mlの飲料缶ならば30本分程度
		約8	ポリタンクならば1本分程度
		約16	2lのペットボトルならば16本分程度
		約32	ポリタンクならば2本分程度
		約64	2lのペットボトルならば32本分程度
		約128	みかん箱ならば3個分程度
		約256	ドラム缶ならば1本分程度
		約512	ドラム缶ならば1.5本分程度
		約1024	ドラム缶ならば3本分程度
		約2048	1立方メートル程度
		約4096	軽トラックで1台分程度

※「水辺の散乱ゴミの指標評価手法（海岸版）」¹⁾に準拠

ウ 調査方法等

調査方法：散乱または集積しているごみを回収し、地点ごとに、ごみの種類別の個数及び重量を計測する。

調査回数：年1回（具体の時期は受託者と協議して決定する）

(3) 調査結果の取りまとめ

(1) 及び (2) のデータを取りまとめ、河川等に散乱していたごみの地点数、重量及び組成について整理する。ごみの空間的依存性を把握するため、モランの I 統計量を用いた空間的自己相関分析を実施し、各地点での空間的特徴を整理する。

また、ごみが特に多かった地点が集中している地域については、地域的、組成的特徴を分析し、報告書にまとめる。

3 打合せ協議

本業務に係る打合せは、必要と認められる場合に随時行うものとする。

4 成果物の提出

区分	納入期限	仕様・部数
最終報告書	令和8年1月30日（金）	A4版カラー両面印刷 2部 電子ファイル 1部 (Microsoft社Word、Excel又はPowerPoint形式)

納入場所

広島県環境県民局環境保全課

(注) 受託者は、委託者の指示する場合においては、履行期限途中においても、成果品の部分引き渡しを行うものとする。

1) 水辺の散乱ゴミの指標評価手法（海岸版）：国土交通省東北地方整備局、JEAN/クリーンアップ全国事務局（現一般社団法人JEAN）、特定非営利活動法人パートナーシップオフィス、2004。

別図 1

